

○議長 各リ信義君
下九番 岩田 博君

補正したいんですが、

私この問題になさ

にき産党というやうなもののが、仮にも国会議員という
人が一自治体になさる議長に接連に入らる「議長」の月給は
「と」か「や」や「え」とか、さういふ暴言を聞いたことになさ
「さ」を「本」君が同席してはかったら「あ」え「本」日の合議
に発言はしはかったら「リ」ご「い」ますか、その点になさ
議長の明確なる答弁をお願ひしたいと思ひます。

○議長 各リ信義君

議長 各リ常任副議長

○議長 各リ常任副議長

過日、工橋先生が加美平の区画整理の反

対のオウニ千人ばかりとお見えにほります。あまたのかつた
わけでご「い」ますが、要は区画整理をやめなうかという
ことでご「い」ます。

又区画整理は既定どおり施行すると、福生町の経過にお
する法則に依る間違ったこととはご「い」ます。そので、
補正が予定通り施行したとすると、さういふお「い」さとし

ということご「い」合見を終ったわけご「い」ます。したがって
今後ともなお一層力をいれ、又区画整理の進行をいかに
進めたいと思ひます。

○議長 各リ信義君

下九番 岩田 博君

○議長 各リ信義君

今の話で聞きますが、非常に普通

の面積のやうですが、しかし普通の面積に比べて、あ
ちがはかったんですが、一般に聞かせるより、声が
こたになさる私は、弾こころを、あつた、税金ド
「議長」やめ「え」とか、さういふ事実はあるか、どう
か、聞きます。

○議長 各リ信義君

議長 各リ常任副議長

○議長 各リ常任副議長

又区画整理をほるべく早く内閣にいたすとい

ことが、おに課せられた仕事でございまして、さういふ
と思ひます。けれども、声の下さかしたと思ひます。け
は区画整理をやめなうかということご「い」ます。私は正
ことをやういふと思ひます。お「い」ます。お「い」

宋課長兼都下計画課長(森田猛君)

答之

二の交通の安全を確保の工事に努める

既陳

すくは
都府
既金
か今
四万
五千
以上
二五
子下

二
〇
三
六

一の瓶
既で
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

し
ろ
は
、
分
路
内
、
二
ヶ
ほ
水
銀
内
で
こ
と
い
す
け
い
と
可
知
な
ら
ず
、

そのやりかたミラーでナカの
計画にそつかりて

二の算定の方法で、二の
子すけと、二の
め、二の
手、二の

決めるわけではなく、花実通を担当して、おりてく警署

有と付カ
所議ニ
路會ニ
かけると
いうこと
で二カ
二百七
十六

何なりとほつくるやうに
いす。

次々以升に一三

おとこはく
子ナートレール等カ考慮いたし

今後警察と協同してあり、
月夜に便するところなり。

と
に
は
フ
ス
お
り
子
す。

又信義君
十番川杉重隆君

川石重隆君
教育長にお尋ねしたい事か
港町の風景

事有七千萬に之を
 答へ願ひたしと思ひます。

本手度はのつくおりませうか――

（済川信集君）
教育長
市田浩二君

（河田信二君）
閣下の外交工事にまつては先般の全

解を以てたゞするに
不手度予尊ぶ有る

内はかり措置いたすにや、
ヤニを全取スルに
了解いたすに

三すーろ
一ふ所にかとすろ、
別に更衣を遣ふとい

く二とて現松飯業を造めたりす下。又く二考之で中つる

今年度は入る。あつて、あつて、あつて。

石川信義君
下番
川杉重隆君

④ 初重唯君
の学は貴の
の工事請負
貴で更衣室

築工事
十
万
円
と
あ
る
の
が
一
つ
の
更
改
費
の
中
の
一
部
を
あ
ら
わ
せ
て
い
た
の
が
、

名川信兼君
教育長
市田君
二君

長
少田
長
二君
子
の
母
子
で
す
か
二
か
子
の
母
子
で
す
か

更夜魚ノ子ノ可ノ。

五言義君
九番若田
專君

最近承り



す。したが、東福保育にが所管工事になるところだが、その点説明願いたいと思ひます。

○議長(石川信義君) 民生課長 森田 政君

す。そのとくに保育の敷、経費別で、か、民間施設と、この場合の保育にこの構造別の紹介が、民間施設と、すく、不手度民間施設の保育に、か、所管工事の必要となり、四十一年度には設計に入り、す、工事、は、四十六年度に、行、する、より、は、手、は、ず、に、は、う、く、お、る、と、思、ひ、ま、す。

○議長(石川信義君) 十九番 岩田 博君

わ、め、め、に、早、く、敷、え、ま、い、た、ら、い、は、か、つ、た、の、か、非、席、に、私、と、も、厚、く、存、心、は、東、福、保、育、に、に、エ、地、を、無、償、提、供、さ、し、て、今、ク、ラ、ブ、は、は、い、ん、で、す。さ、う、い、う、こ、と、を、知、つ、て、い、る、は、う、ち、私、は、二、階、を、ク、ラ、ブ、に、こ、う、下、を、保、育、に、こ、う、い、う、に、使、用、で、用、意、に、た、か、つ、た、ん、で、す、が、自、分、に、ラ、グ、エ、地、を、み、つ、け、る、い、ま、も、思、う、や、う、に、な、ら、な、い、



ん、で、す。毎、年、各、人、が、ラ、グ、の、用、地、を、お、め、や、う、と、思、つ、ま、日、お、め、や、い、は、い、か、態、は、い、ん、で、す。福、生、サ、ク、ラ、ブ、を、採、た、は、い、あ、合、は、二、つ、か、三、つ、で、お、め、よ、ほ、と、い、ふ、あ、る、め、り、で、す。さ、う、い、う、苦、衷、に、あ、る、私、と、も、の、サ、イ、に、な、し、て、ま、た、鉄、筋、コ、ン、ク、リ、ー、ト、の、保、育、に、を、造、ら、う、な、場、合、は、永、久、に、東、福、保、育、に、は、ク、ラ、ブ、を、サ、ク、ラ、ブ、に、は、い、と、い、う、非、席、に、造、ら、う、運、命、に、な、る、ん、で、す、が、こ、う、い、う、さ、う、い、う、こ、と、を、知、つ、て、い、た、ら、め、い、に、話、さ、さ、う、つ、ま、ま、同、歩、調、と、つ、ま、い、た、ら、い、は、か、つ、た、の、か、所、管、工、事、が、その、点、を、一、度、お、願、い、た、い、ま、す。

○議長(石川信義君) 民生課長 森田 政君

地、元、の、木、村、さ、ん、に、は、話、さ、さ、あ、る、め、り、で、ご、い、い、ま、す。さ、め、で、に、設、計、に、は、入、つ、て、お、り、ま、せ、さ、る、で、四、十、一、年、度、を、計、ら、な、い、ま、す。の、ど、の、と、こ、に、設、計、し、た、い、と、思、ひ、ま、す。

○議長(石川信義君) 十九番 岩田 博君

私、は、サ、ク、ラ、ブ、を、平、行、さ、さ、さ、な、か、つ、た、ら、い、反



にしました。よろしく思います。

市長にお伺いしたいですが、市政三十周年記念式でござい
ますか、二にいつく市制の行事でございませうか、合々マリアンという
お話がございしますか、市政三十周年の期日は大体いつ頃に
はるのか。

○議長（石川信義君） 市長、石川常太郎君

○市長（石川常太郎君） 二月一日でございします。

○下野（水谷清一君） それでまたもし市制が実現すれば、それまで待つ

おりにするの。

○議長（石川信義君） 市長、石川常太郎君

○市長（石川常太郎君） 市制が実現するまでは、市制記念日には

ないかも知れませんが、その場合はまたあらためて相談申し

あげたいと思います。

○議長（石川信義君） 九番、下野行次君

○九番（下野行次君） 各府県で交通災害保険が相当普及してござ

います。福生町の現況にどうぞ説明

願いたいと思います。

○議長（石川信義君） 総務課長、高水が君

○総務課長（高水が君） お答えいたします。

昭和四十二年二月十日現在の決定分によります。

マリアンが非常に多いとございします。見舞会やお仲間が

九千人とございします。そのうち一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

二、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、一五、七五、

議三十七
議三十八
議三十九
議四十
議四十一
議四十二
議四十三
議四十四
議四十五
議四十六
議四十七
議四十八
議四十九
議五十

本案は、御説を省略したに、たゞに提果理由の説明を求め
ます。
住民課長 乙津泉吉君

○住民課長(乙津泉吉君) 指摘があり、たので、議案が三十一号
昭和四十五年度福生所国民健康保険特別会計予算に、つそ

二款明申しを、おきます。
国保の予算は、八千九百九十四万

五千円と定めようとするものでございす。
最初、本予算につき、まは医療費に、なす、給付

費が、その大部分でござい、ま、さ、い、を、補う、ため、の、財源、と、
いた、す、る、保、険、料、国、庫、支、本、金、お、よ、び、都、の、支、本、金、を、大

ま、は、収、入、と、し、て、あ、り、ま、す。こ、た、い、ま、す、る、医、療、費、の、見、込
み、を、明、確、に、つ、か、わ、さ、し、ま、す、が、当、初、と、さ、は、金、額

不、知、ぬ、で、ご、ざ、い、ま、す。ま、こ、こ、一、応、保、険、料、の、基、準、と、は、ま、所
得、国、定、資、産、税、の、伸、び、を、参、考、に、い、た、い、ま、す、る、保、険、料、を

算、出、し、た、い、ま、す、る、ま、い、か、う、逆、算、し、て、医、療、費、を、推、計、し、た、も、の

が、二、の、予、算、と、は、つ、く、あ、り、ま、す。こ、い、を、販、年、と、さ、べ、ま、す
と、医、療、費、の、伸、び、を、約、十、四、万、増、と、見、込、ん、だ、わ、け、で、ご、ざ、い、
ま、す。医、療、費、の、総、額、を、一、億、七、千、四、百、七、十、八、万、円、と、こ、た、め

け、で、あ、り、ま、す。
二、頁、の、八、千、八、百、八、十、八、の、説、明、を、ご、さ、ま、い、に、た、さ、ま、す。

八、千、八、百、八、十、八、の、説、明、を、ご、さ、ま、い、に、た、さ、ま、す。
こ、ま、は、先、き、ほ、ご、申、し、あ、げ、ま、す、に、よ、う、に、所、得、の、伸、び、と、国、定、資、産

の、増、額、に、よ、る、伸、び、を、見、込、み、ま、す。四、十、四、手、度、と、同、率、を、見、込
ん、だ、も、の、で、ご、ざ、い、ま、す。こ、い、に、よ、り、ま、す、推、算、し、た、い、ま、す、に、額

が、甲、手、度、分、五、千、九、百、一、千、円、と、見、込、み、ま、す。に、
分、三、千、八、百、八、十、八、の、見、込、み、合、せ、ま、す。八、千、九、百、一、千、円、と、い、た

こ、た、八、千、八、百、八、十、八、の、説、明、を、ご、さ、ま、い、に、た、さ、ま、す。
い、ま、す、が、事、務、費、の、負、担、金、と、い、た、い、ま、す。四、百、八、十、八、の、
予、算、を、医、療、給、付、費、の、四、割、分、六、千、九、百、八、十、八、万、四、千、円、を、合、せ

下、七、千、四、百、七、十、八、千、円、助、産、費、の、補、助、金、二、百、三、十、三、万、円、を
合、せ、ま、す。七、千、六、百、九、十、三、万、九、千、円、を、予、定、し、て、あ、り、ま、す。